

古墳時代 I

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

3世紀後半になると、各地に王や豪族の墓である古墳がつくられるようになった。とくに奈良盆地を中心とする地域には大きな古墳が多く、そこには強い力をもつ王と有力な豪族たちからなる（ A ）が生まれていた。古墳のまわりや頂上には、人や馬などをかたどった（ B ）が置かれた。

① A、Bにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

A（ ） B（ ）

② 右の図は、大阪府堺市にある日本最大の古墳であるこの古墳を何というか。



（ ）

③ ②の古墳のような、四角い部分と円い部分を合わせた形の古墳を何というか。

（ ）

④ ③の形の古墳が最も多く見られる地方を、次から1つ選びなさい。

東北地方 関東地方 近畿地方 九州地方

（ ）

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

大和政権の王は（ A ）とよばれ、5世紀には九州地方から東北地方南部にいたる各地の豪族を従えていた。埼玉県の新井山古墳から出土した鉄剣と、熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀には、どちらも同じ王の名がほられている。

① Aにあてはまる語句を、漢字2字で答えなさい。（ ）

② 鉄剣と鉄刀にほられていた王の名を、カタカナで答えなさい。

（ ）

③ 埼玉県と熊本県の古墳から、同じ王の名がほられた鉄剣・鉄刀が出土している。

このことから、当時の大和政権の勢力について考えられることを、簡潔に書きなさい。

（ ）

④ 古墳がつくられたころの社会のようすを述べた文として正しいものを、次から1つ選びなさい。

ア 朝鮮半島から移り住んだ人々が、稲作を伝えた。

イ 国が百余りあり、中国に朝貢する国もあった。

ウ 王と有力な豪族たちが連合し、政権をつくった。

（ ）

解答

1 ① A 大和政権（ヤマト王権） B 埴輪 ② 大仙古墳 ③ 前方後円墳 ④ 近畿地方

2 ① 大王 ② ワカタケル

③ 大和政権の勢力は、九州中部から関東地方までおよんでいた。

④ ウ